

▶24日 水曜

マタイ

17:1 それから六日たって、イエスは、ペテロとヤコブとその兄弟ヨハネだけを連れて、高い山に導いて行かれた。

17:2 そして彼らの目の前で、御姿が変わり、御顔は太陽のように輝き、御衣は光のように白くなつた。

17:3 しかも、モーセとエリヤが現わされてイエスと話し合っているではないか。

17:4 すると、ペテロが口出ししてイエスに言った。「先生。私たちがここにいることは、すばらしいことです。もし、およろしければ、私が、ここに三つの幕屋造ります。あなたのために一つ、モーセのために一つ、エリヤのために一つ。」

17:5 彼がまだ話している間に、見よ、光り輝く雲がその人々を包み、そして、雲の中から、「これは、わたしの愛する子、わたしはこれを喜ぶ。彼の言うことを聞きなさい。」という声がした。

17:6 弟子たちは、この声を聞くと、ひれ伏して非常にこわがつた。

17:7 すると、イエスが来られて、彼らに手を触れ、「起きなさい。こわがることはない。」と言われた。

17:8 それで、彼らが目を上げて見ると、だれもいなくて、ただイエスおひとりだけであった。

17:9 彼らが山を降りるとき、イエスは彼らに、「人の子が死人の中からよみがえるときまでは、いま見た幻をだれにも話してはならない。」と命じられた。

17:10 そこで、弟子たちは、イエスに尋ねて言った。「すると、律法学者たちが、まずエ



Bible Reference
聖書の記述

リヤが来るはずだと言っているのは、どうしてでしょうか。」

17:11 イエスは答えて言われた。「エリヤが来て、すべてのことを立て直すのです。

17:12 しかし、わたしは言います。エリヤはもうすでに来たのです。ところが彼らはエリヤを認めようとせず、彼に対して好き勝手なことをしたのです。人の子もまた、彼らから同じように苦しめられようとしています。」

17:13 そのとき、弟子たちは、イエスがバブテスマのヨハネのことを言われたのだと気づいた。

イエス様はこれから成し遂げようとする救いのみわざについて、モーセおよびエリヤと話し合われました。モーセは律法の代表的人物であり、エリヤは預言の代表的人物です。どんな出来事であったのか、またどんな内容だったのかは具体的に書かれていませんが、イエス様が十字架で律法と預言とを完全に成就なさうとしておられるることは分ります。

イエス様は全人類の救いのために前進しておられましたが、ペテロはここに記念の「幕屋を造り」とどまろうとしました。これほどの神体験をした自分が誇らしかったとうのもあるでしょう。本当の神体験は、過去の証しに留まるのではなく、常に前進しておられる主とともに、自分も前進するものです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしななど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

